



学校の教育目標「主体的・対話的に暮らしをよりよくしていこうとする子どもの育成」に向かって歩む子供たちの姿を掲載していきます。今月は3年生と6年生です。

最高学年として力を尽くした運動会～6年生～

先日行われた運動会に向けて、6年生が自分たちで考え、相談し、高め合う姿がたくさん見られました。特にその姿が見られたのは、応援合戦に向けて活動している時でした。まずは、結団式に向けて応援の骨組みを決める話し合いを多く重ねました。応援に関する言葉や振り付けの吟味、必要な小道具の準備、下級生への指導の仕方など多岐にわたる内容について話し合いました。各団20名程いるため意見が対立したり、アイデアがなかなか思い浮かばず話し合いが進まなかったりする様子が見られました。その都度、自分たちで考える時間を設けたり、小グループに分かれて話をしたりするなどして、何とかして問題を解決しようとする姿が見られました。



実際に下級生の前に立って応援合戦に向けての練習が始まると、自分たちが伝えたいことをなかなか下級生に理解してもらえず、伝達に時間がかかったり、6年生同士の連携がうまく取れず、全体に指導が行き届かなかったりすることもありました。その際には、団担当の先生方に練習後のミーティングでアドバイスをもらったり、自分たちで休み時間に話し合いをしたりする様子が見られました。その結果、本番ではどの団も自信をもって演技し、閉会式では団長が団員へ心を込めて感謝の気持ちを伝えていました。誰もが「この結果は1人だけで成し遂げられたわけではなく、周りの人の支えや協力のおかげで行うことができたのだ」と感じたのではないかと思います。

これからも最高学年としての学校生活は続いていきます。この運動会で得た自信を胸に、今後よりよい新庄小学校を目指しながら、主体的に自分づくりをしていってほしいと願っています。（6年担任）

一人一人が問題解決に向けて～3年生～



3年生は「よりよい暮らしをつくっていくために、自分で見つけて自分で行動する」を合言葉に朝活動に取り組んでいます。毎日イングリッシュルームの清掃を続けているAさんの姿を見て、同じ学級の仲間も集まり、今では数人で毎朝清掃を行うようになりました。子供たちは「外国語の授業でたくさんの学年が使うから、少しでも気持ちよく使ってほしい」「クロムブックを充電する場所だから、ほこりがあるとクロムブックが壊れやすくなると思う」など、自分たちなりの思いをもって活動しています。誰かに言われたからではなく、「みんなのために」と考えて行動する姿から、主体性や思いやりの心が育ってきていることを感じます。

また、総合的な学習の時間では、「大豆の変身！調査隊」をテーマに学習を進めています。給食のグループに「大豆でできています」と書かれていたことをきっかけに、「大豆ってこんな食べ物にもなるんだ！」と興味を広げる子供たちの姿が見られました。本やインターネットで調べたり、仲間と情報を伝え合ったりしながら、「豆腐や味噌、醤油も大豆からできている」と新しい発見を楽しんでいます。学習を進める中で「もっと調べてみたい」「次はこんなことも知りたい」という声も増えてきました。今後は、野菜作りの経験を生かし、大豆を育てながら学習をさらに深めていく予定です。

これからも、子供たち一人一人の「やってみたい」「知りたい」という気持ちを大切にしながら、主体的に学び、仲間と関わり合いながら成長していけるように支援していきます。（3年担任）